

業務部 統括分析官付 分析官

平成16年採用（Ⅱ種化学）

### 1. 税関を志望したきっかけ

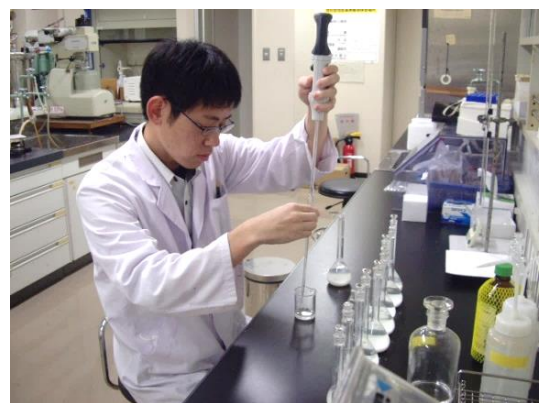
私は学生時代に化学を専攻しており、その専門知識を活かすことができる職業に就きたいと考えていました。官庁訪問等を通じて神戸税関の業務内容を調べたところ、様々な分析を行う分析部門という部署があり、業務内容に興味を持ったことが神戸税関を志望した理由です。

### 2. 現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力など

私は神戸税関の分析部門で勤務しており、主に輸入貨物の分析業務を担当しています。海外から物を輸入する際には関税という税金がかかり、一部の貨物では特定の性質の有無、また特定成分の割合といった基準によって関税額が変わってきます。

これらの基準は貨物の外見からは判断できませんので、分析を行って輸入申告が適正であるかどうかを確認しています。分析対象としては、食品や化学品、また税関で摘発された覚醒剤等の不正薬物があり、水分、糖分、塩分等多岐に渡る分析を行います。そのため、分析部門には多くの分析機器が配備されており、最初は分析方法を全て習得できるのか不安がありましたが、職場の方々に教えてもらいつつ、何とか習得することができました。

また輸入貨物の分析と並行して税関分析に関する最新の研究を行っており、財務省の研究機関である関税中央分析所において開催される税関研究発表会で研究成果を発表したりもしています。ここでは全国の税関から分析担当者が集まりますので、分析に関する情報交換等も行っています。



### 3. 受験生へのメッセージ

税関には分析部門だけでなく、輸入貨物を検査する際に使用されるX線検査装置などの検査機器を扱う部署等もあり、多くの部署で理系出身者が活躍しています。このように様々な専門知識を活かすことが出来る職場がありますので、税関の仕事に興味のある方は希望してみてもいいのではないでしょうか。